

## 福島のものづくりは、 日本でいちばんの 安心づくりだ。

福島県伊達市の特産品「あんぼ柿」は、濃厚な甘さが自慢の干し柿。  
しかし震災直後、すべての柿の実を土の中に埋めなくてはなりませんでした。  
「長年、あんぼ柿をつくってきて、初めてのこと。辛くて涙が出た。」  
あんぼ柿生産部会会長の穴戸里司さんは、そう語ります。

止まってしまった出荷を、なんとか元に戻したい。  
強い思いとともに、あんぼ柿再生に向けた取組みが始まりました。  
厳しい寒さの中、2年間をかけて柿の木約25万本を丁寧に除染し、  
3年目にはJA伊達みらい(現:JAふくしま未来)との連携のもと、  
非破壊検査機器を導入。  
全量検査の実現により、安全なあんぼ柿の出荷をついに再開させました。

「伊達の地に柿を根づかせた先人たちの苦勞を考えると、  
こんな苦勞乗り越えなきゃ。」  
5年目の今、穴戸さんは笑いながらそう言います。  
小さなこの実は、福島の希望。  
まだまだ、あんぼ柿には課題はあるけれど、これをきっかけに、  
世界で一番安全な干し柿をつくってみせると意気込んでいます。  
農業が元気になると、  
つくっている人や、その街の人々まで元気になる。  
そんな農業と地域のみらいを支え、  
一緒に課題を乗り越えてみせる。  
私たちはJAグループです。

 耕そう、大地と地域のみらい。

 JAグループ

